



平成 19 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 東洋製罐株式会社  
代 表 者 名 取締役社長 三木 啓史  
(コード番号 5901 東証・大証 各第 1 部)  
問 合 せ 先 執行役員総務部長 清水 泰行  
(TEL 03 - 3508 - 2113)

## 東洋製罐グループ中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 5 月 18 日開催の取締役会において、2007 年度から 2009 年度まで（平成 20 年 3 月期から平成 22 年 3 月期まで）の 3 ヶ年の「東洋製罐グループ中期経営計画」を決定いたしましたので、その概要を以下の通りお知らせします。

### 1. 東洋製罐グループ中期経営計画策定の目的・背景

当社グループを取り巻く昨今の経営環境は、原材料価格の高止まりや競合容器メーカーとの競争激化、さらにはお得意先における容器の自社製造の拡大などによって一段と厳しい状況が続いております。

東洋製罐株式会社は本年 6 月 25 日に創立 90 周年を迎えるにあたり、2007 年度から 2009 年度までの「東洋製罐グループ中期経営計画」を策定いたしました。

来るべき創立 100 周年に向けて、当社グループはこの経営計画の実行によって企業価値を向上させてまいります。

### 2. 東洋製罐グループの経営ビジョン

「包みのテクノロジー」を基軸として、人類の幸福と繁栄に貢献する世界の先進プロフェッショナル企業を目指します。

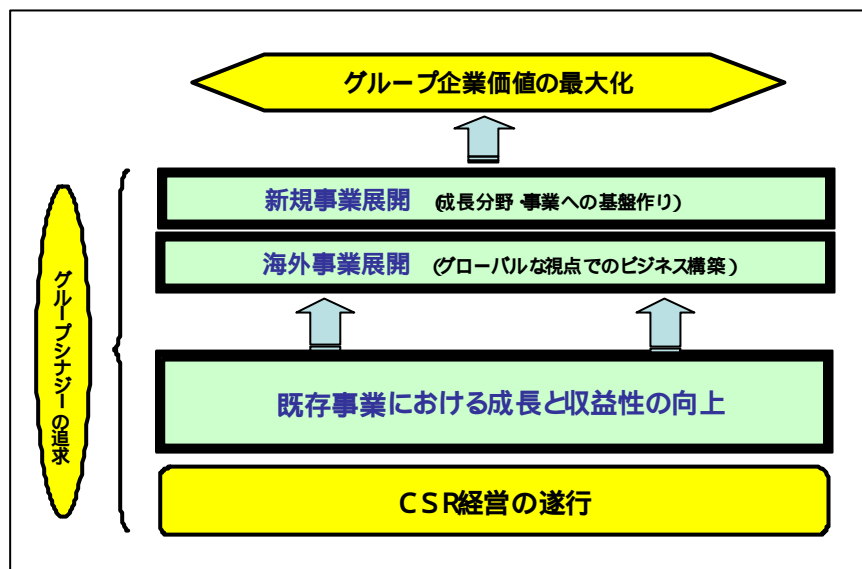
生産と消費の橋渡し機能を持つ包装容器の無限の可能性を追求します。

「生産・充填包装・流通・消費・回収再生」にわたって環境をさらに重視したソリューション企業グループを確立します。

他社の追従を許さない技術立社を目指します。

### 3. 基本戦略の骨子

東洋製罐グループ中期経営計画は、昨年公表した当社単独の中期経営計画の基本骨子を踏襲し、「既存事業における成長と収益性の向上」「成長分野・事業への基盤作り」「グローバルな視点でのビジネス構築」「グループシナジーの追求」「CSR経営の遂行」をグループ全体の基本戦略として取り組みます。



### 4. 基本戦略の概要

#### ➤ 既存事業における成長と収益性の向上

##### 【包装容器関連事業】

- 機能付加製品・環境配慮型製品の上市による売上拡大
- ソリューションビジネスの推進による事業構造の強化
- 適正な製品価格への是正
- 継続的改善とコスト競争力の強化
- グループ内事業・製品の再編成
- 海外への生産移管と海外市場の拡大

##### 【鋼板関連事業】

- 鋼板用途の拡大
- 缶用材料の海外市場拡大
- 不採算事業からの撤退

##### 【その他事業】

- 海外での製品販売拡大と海外資材調達
- グループ内の資産活用

#### ➤ 成長分野・事業への基盤作り

- 保有技術を活かした用途分野の拡大
- グループコアの食品・生活用品向けの包装容器からIT・エネルギー・電機市場等への事業展開

- **グローバルな視点でのビジネス構築**
  - 中長期視野での積極的な海外展開
  - 海外での飲料充填事業の開始
  - 最良の容器と高度な製造技術による世界展開
- **グループシナジーの追求**
  - 事業・生産品目の集約化と効率化
  - 経営資源の有効活用
  - 研究開発の強化
  - グループ協働による海外事業展開
- **C S R 経営の遂行**
  - グループ C S R 経営の推進
  - 環境経営の推進

## 5. 数値目標

### 連結売上高・利益

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	7,289 億円	7,450 億円	7,700 億円	8,000 億円
営業利益	179 億円	190 億円	250 億円	320 億円
経常利益	188 億円	200 億円	260 億円	330 億円
経常利益率	2.6%	2.6%	3.3%	4.1%

### 参考（単独売上高・利益）

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	3,448 億円	3,500 億円	3,550 億円	3,700 億円
営業利益	41 億円	60 億円	95 億円	105 億円
経常利益	82 億円	100 億円	130 億円	140 億円
経常利益率	2.4%	2.8%	3.6%	3.7%

【事業の種類別セグメント】

包装容器関連事業

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	6,153 億円	6,350 億円	6,500 億円	6,750 億円
営業利益	122 億円	140 億円	180 億円	220 億円

鋼板関連事業

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	663 億円	600 億円	650 億円	650 億円
営業利益	17 億円	10 億円	20 億円	30 億円

その他事業

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	472 億円	500 億円	550 億円	600 億円
営業利益	38 億円	40 億円	50 億円	70 億円

【所在地別セグメント】

国内

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	7,070 億円	7,100 億円	7,300 億円	7,550 億円
営業利益	157 億円	170 億円	225 億円	290 億円

海外

	2006年度実績	2007年度計画	2008年度計画	2009年度計画
売上高	218 億円	350 億円	400 億円	450 億円
営業利益	22 億円	20 億円	25 億円	30 億円

投資計画

投資総額 2007～2009年度累計 1,500 億円  
 東洋製罐 : 600 億円  
 海外投融資 : 200 億円

研究開発投資

研究開発費 2007～2009年度 160 億円/年

人員計画

国内社員数 2007～2009年度累計 約 400 名の人員減

## 6. 株主還元・利益配分について

当社は、当社グループの業績を総合的に勘案し、株主還元・利益配分を将来にわたり着実に増加させる努力を継続します。

当社の株主還元・利益配分に関する方針は以下のとおりです。

株主還元は「連結配当性向 20%」を当面の基準とします。

自己株式の取得については株式市場や財政状況に応じて柔軟に実施します。

内部留保は中長期的な視点に立ち、積極的かつ機動的にM & A・新規事業・海外事業・研究開発投資に充当します。

なお、本資料で記載している業績目標ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、潜在的なリスク・不確実性が含まれています。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載されている目標ないし予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

以 上